



西中学校について

| | |
|-------|---------|
| 学級数※1 | 生徒数 |
| 13学級 | 317名 |
| 職員数 | 若手教員数※2 |
| 26名 | 11名 |

※1 学級数等は令和2年5月時点 ※2 概ね10年未満の教員

未来を創る生徒と教師の
人材(財)育成

「つなぐ・つながる・つながり」による
組織的・協働的な改善

提言1 学校の組織的な授業改善による「新大分スタンダード」の徹底



「わかった」「できた」の音が響き合う授業

若手教員の人材育成

生徒の姿で検証・改善

授業が変われば学校が変わる

提言2 学校規模に応じた教科指導力向上の仕組みの構築

「タテ持ち」

3提言推進拠点校教員(国数)習熟度別指導推進教員(英)は、3学年の「タテ持ち」を実施。

国語 → 3つの提言推進拠点校教員

| | | | | |
|----|----|----|----|----|
| 3年 | 1組 | 2組 | 3組 | |
| 2年 | 1組 | 2組 | 3組 | |
| 1年 | 1組 | 2組 | 3組 | 4組 |

英語 → 習熟度別指導推進教員

| | | | | |
|----|----|----|----|----|
| 3年 | 1組 | 2組 | 3組 | |
| 2年 | 1組 | 2組 | 3組 | |
| 1年 | 1組 | 2組 | 3組 | 4組 |

提言3 「生徒と共に創る授業」の推進

分析シート

生徒と共に創る授業アンケートより
分析と今後の重点目標を設定

| 課題 | 成果 |
|---|----|
| 国語科の課題 | |
| 「個」で考える時間をうまく活用できていないから、「深まった」という実感がない。 | |

| 重点目標(10月) |
|------------------------------------|
| ● 個で考えた内容を、班やペアで表現させ「深める」話し合いを目指す。 |

「教科部会」

- 国社数理英は、教科ごとに教科部会(週1回)を開催。
- 音美体技家は、合同教科部会(週1回)を開催。

| 時間割 | 木曜日 | | | | | | 金曜日 | | | | | |
|-------|-----|-----|-----|------|-----|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-------------|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 数学A先生 | 3-3 | | 2-2 | 数学部会 | | 2年総 | 国語A先生 | 1-2 | 1-3 | | 1年総 | 1年総 |
| 数学B先生 | 1-2 | 3-1 | | | 3-2 | | 国語B先生 | 2-3 | 3-1 | | 2-2 | 白杵プロジェクト会議※ |
| 数学C先生 | 3-3 | 1-1 | 1-4 | | 1-3 | | 国語C先生 | | | 3学活 | 3-2 | |
| 数学D先生 | | 3-1 | 2-2 | | 3-2 | 2年総 | | | | | | |

■ 市教委主催による、西中を核とした学力向上に向けたプロジェクト会議。※詳細は、vol. IIで紹介

■ 今日の授業では、みんなが発表する人の方を向くなど、「西中授業規律の5ヶ条」を全員が意識して守ることができていました。

教科系の生徒が 授業研究会(音楽)に参加

- 話が進まないペアは、他のペアの箏の「音色」を参考にするため、考えながら聴いていました。
- 最後に発表したペアは、箏の曲が完成して、私たちもあのような曲を創作したいので、残りの1時間の授業を頑張りたいです。